

# 日刊 旅行通信

## Wing Travel Daily

発行所 航空新聞社：日刊旅行通信編集部編  
〒107-0052 東京都港区赤坂4-8-6 赤坂余湖ビル3階  
TEL(03)3796-6646 FAX(03)3796-6645  
http://wingnews.net mailto:mail@wingnews.net  
購読料 半年33,600円 年間63,000円(消費税含む)

### 【トップニュース】

#### ★観光庁、7月1日より新体制でスタート インバウンド推進体制強化、オール国交省で

観光庁は7月1日より、新体制でスタートを切った。新たに観光庁内に「インバウンド政策推進事務局」を設け、次長や審議官をトップに5課体制で取組を進めるほか、航空や鉄道をはじめとする関係各局にも観光担当の併任者を置き、オール国交省で取り組む体制を整えた。また、観光政策に通じた面々が観光庁に再結集し、新たな布陣で観光政策を推進することは既報の通りだ。

これを受け、新たに観光庁に着任した方々に、就任の抱負を聞く。第一弾の本日号では、佐藤善信観光庁次長に話を聞いた。(聞き手=印南有理)

#### ■佐藤善信次長、あらゆる関係者の総力を結集 『開かれた観光庁』を最徹底、聞く力高める

観光庁次長に就任した佐藤善信氏は、今年の訪日外客1000万人の必達目標と、観光が日本経済の成長エンジンの一つに明確に位置付けられたことに「重責、重圧を感じる」とした上で、「観光庁の人員や予算は限られており、観光庁だけでできることは限られる。そのため周囲のあらゆる関係者の力を借りて、関係者の総力によって取組を進めたい」と述べ、そのためにも『開かれた観光庁』の実現が重要、との考えを示した。



佐藤善信観光庁次長

『開かれた観光庁』とは、5年前の2008年10月に観光庁が発足した際、観光庁の理念や行動憲章を定めた観光庁ビジョンとして示されたもの。行動憲章では、『開かれた観光庁』を実現するため、新しい意識と組織文化の創造に職員一人一人が取り組むとして、「観光庁5か条」を制定。民間、自治体、他省庁などと交流して新しい力を発揮すること、タテ割りに陥ることなく、無駄を省いてスピード感を持ち迅速に成果を出すこと、壁のない自由なコミュニケーションを徹底し、働きやすい職場環境を作ることなどが高らかに宣言された。

佐藤次長自身は、観光庁発足前の2007年7月~2008年6月まで、総合政策局観光政策課長(現観光庁総務課長に相当)を務

### 週刊ウイングトラベル オーストラリア教育旅行特集

め、観光庁という新たな組織を作るための組織要求を担当したが、観光庁ビジョンをはじめとする中身の議論が本格化したのは、佐藤氏の異動後だったという。それでも、「5年ぶりに観光に戻ってきて、改めて読み返すと、すごく良いことが書いてある」と述べ、「是非ともここに書いてあることを実行に移したい」と意欲を示した。

佐藤次長自らの言葉を借りると、キーワードは「人のふんどしで相撲を取ろう」。観光庁は2008年の発足当時、公務員約100人、民間や自治体からの出向者20人弱の体制でスタートし、「どんな化学反応が起こるのかと楽しみにしていた」が、今では民間出向者は40人規模に達し、職員レベルでの交流はかなり進んできたとした。ただ、発足当時に比べれば人も予算も増えたとは言え、「何から何までやろうとしても、自ずと限界がある」としたほか、観光庁内の情報共有や意思統一を改めて徹底することも必要ではないかと問いかけた。

また、佐藤次長は、「役所は往々にして、何が求められているかよりも、役所として何がしたいかを優先する傾向がある」とも指摘。前任の航空局などは、安全規制があるため必要な面もあるとしながらも、「観光は違う」と強調、「観光庁の外側の人の力を借りていかなければ、どうしてもうまくいかない」とした。そのため、あらゆる関係者の声をきちんと吸い上げ、理解した上で、観光庁自らが実現するのか、関係者に協力を要請するのかを見極めて対応していく必要があるとした。

#### アクション・プログラムの行程表、早期に作成 実施主体と目標期限を明記、関係先に協力要請

今年は、ビジット・ジャパン事業のスタートから10年、観光庁発足から5年という節目の年で、安倍政権下で観光立国推進関係会議が設置され、具体的にやるべきことがアクション・プログラムとして明確化されるなど、政府を挙げた観光立国政策がより一層強化されてきた。新体制でスタートした観光庁にも、実行力と成果が求められている。

このアクション・プログラムの具体的な推進方策について、佐藤次長は、「アクション・プログラムに書かれた全項目を、いつまでに、誰が主体的に取り組むのかという目標を明確に定めた“行程表”を作る」と述べ、行程表をできるだけ早期に作成する方針を示した。既に、関係各局の併任者を含めた初会合を7月1日に、観光庁内での実務者による会合を7月8日にスタートさせ、具体的な検討に着手している。

アクション・プログラムに盛り込まれた施策は、項目だけで約90項目にも及ぶという。しかも、「観光庁自らができることは限られており、関係各局や関係省庁、民間や自治体などの関係者に主体的にとりくんで頂かなければならないものの方が多い」として、観光庁としては、行程表によって全体の目標管理

**JATA 旅博** 9月12日(金)~13日(土)~14日(日)~15日(月)  
海外・国内旅行のビジネスチャンス! JATA国際商談会  
9月12日~13日 / オンライン参加登録 7月19日まで

登録・詳細はこちら → <http://www.b.tabihaku.jp/>

をいくつか、それに向かって頑張ってもらえるよう関係者に協力を要請を行っていく仕事が大変だとした。

また、関係者の協力という観点では、訪日外国人旅行者の大半が空路で日本へ来ることを考えても、航空局をはじめ、事業主体である航空会社、空港会社、空ビル会社などの協力を得られるかは重要課題となる。その意味では、今回の人事で、佐藤次長が前任の航空局次長から、篠原康弘観光庁審議官が前任の航空局航空ネットワーク部長からそれぞれ異動してきており、より連携しやすい体制もできている。

佐藤次長は、「インバウンドでどうやって外国客に来てもらうかを考えると、クルーズもあるが、大部分は航空。航空会社と、日本の玄関口たる国際空港の果たすべき役割は非常に大きい」と指摘。そして実は、佐藤次長がまだ航空局次長を務めていた6月初旬に、「観光庁から航空会社や空港会社などとの意見交換会をやりたいとの話があり、私も計4回の会合に立ち会った」として、航空との連携強化の動きは既に始まっているとした。

その際、国への要望もヒアリングしたが、「やはり、CIQ関係の要望は色々あった」と説明、それにも結局、観光庁の外側の人の力を借りなければ実現はできないとした。佐藤次長は、「規制緩和や政策面など色々あるが、まずは何を望んでいるのかを聞くことから始まる」との姿勢を示した。

【佐藤善信(さとう・よしのぶ)】

▼1960年2月22日生、53歳

▼1982年3月＝東京大学法学部卒

▼1982年4月＝運輸省入省

▼1998年7月＝航空局監理部航空事業課貨物業務室長

▼1999年4月＝航空局監理部航空事業課地域航空活性化対策室長

▼2001年1月＝国土交通省大臣官房会計課企画官

▼2003年7月＝航空局飛行場部関西国際空港・中部国際空港監理官

▼2007年7月＝総合政策局観光政策課長

▼2008年7月＝大臣官房会計課長

▼2010年8月＝航空局空港部長

▼2011年7月＝航空局航空ネットワーク部長

▼2012年10月＝航空局次長

▼2013年6月＝観光庁次長

## 【旅行関連】

### ★KNT個人旅行、「メイト」年末年始商品発売 北海道・九州・沖縄方面プランを単一パンフに

近畿日本ツーリスト個人旅行は、国内企画旅行「メイト」の2013-14年の年末年始商品を発売した。今年の年末年始は最大9連休(12月28日～1月5日)と日並びが良いため、人気が見込まれる長距離の北海道・九州・沖縄方面へのプランを初めて1つのパンフレットにまとめた。首都圏発のほか、中部発・関西発商品も展開する。

首都圏発商品では、60日前の予約で1人あたり5000円を割引く早期割引特典を設定した。またコースは2泊3日から3泊4日のフリープラン型を中心とし、ホテルには札幌プリンスホテル(札幌)や花菱ホテル(別府温泉)などのグレードの施設を設定した。更にプレミアム感のある施設への変更も追加料金で可能。

週刊ウイングトラベル

## オーストラリア教育旅行特集

北海道方面プランでは、滞在中に1回宿泊ホテルでの夕食を付けたほか、浴場があるホテルのみを設定した。料金一例として、札幌プリンスホテルに宿泊する3日間のコースは2名1室利用で5万8900円～9万900円と設定した。

九州方面プランでは、人気の温泉地での連泊のほか、飛行機の料金を出発時間にかかわらず割増料金なしで提供する。花菱ホテル・ホテル三泉閣に宿泊する3日間のコースは、4・5名1室利用の場合7万1800円～11万9800円と設定した。

沖縄方面プランでは、滞在中カーナビ搭載のレンタカーを利用できるようにした。さらに琉球村やおきなワールドなど、12施設の入場券が付いたクーポンを用意した。料金は、リザンシーパーク谷茶ベイに宿泊する3日間のコースで、4名1部屋利用の場合5万4900円～10万9900円と設定した。

### ★エイチ・エス損保、ネットでグループ旅行販売開始

エイチ・エス損害保険は、6月から販売しているネット専用海外旅行保険「スマートネット」で、グループ旅行プランの販売を開始した。同グループ旅行プランは1回の手続きで最大7名まで引受けが可能で、友人・同僚・サークルなどのグループ旅行の契約手続きの利便性が向上する。

また、グループ旅行プランとは別にファミリーの契約プランも今まで通り用意。グループ旅行プラン・ファミリープランの契約は、パソコン・スマートフォンから申込みが可能。

※「スマートネット」ウェブサイト

<http://www.hs-sonpo.co.jp/travel/>

### ★リージェント、16年夏就航予定の新造船を発表 全369室、「歴史上最もラグジュアリーな客船」

リージェント・セブンシーズ・クルーズは、新造船「セブンシーズ・エクスプローラー」の建造に着手することを発表した。2016年夏の就航を予定し、総トン数は5万4000トン。全室バルコニー付のスイートルーム仕様で、乗客定員は738名を計画する。建造費用はおよそ4億5000万USドル。リージェントとしては4隻目の客船。

造船はイタリアのフィンカンティエリ造船所が担当する。客室は約28平方メートル～140平方メートルまで各種タイプを取り揃え、全369室を設ける計画。また、船内には6つのオープンシーティング(自由席制)のレストランや、2層吹き抜けのエクスプローラー・シアターなどがつくられる。

詳細な仕様は順次発表していくが、リージェント社を保有するプレステージ・クルーズ・ホールディングスのフランク・J・デル・リオ会長兼CEOによると、「歴史上もっともラグジュアリーなクルーズ客船になる予定だ」としている。乗客に対する総トン数比率(スペース・レシオ)や、1人あたり乗客に対する乗組員比率を最大限に高めることで、次世代型のラグジュアリー客船にすることを強調している。

リージェント・セブンシーズ・クルーズは、最上級のサービスや食事の特徴に、数々のアワードを受賞している世界屈指のラグジュアリー客船会社。現在「セブンシーズ・マリナー」「セブンシーズ・ボイジャー」「セブンシーズ・ナビゲーター」

JATA 旅博 2013 9月12日～13日 14日～15日 東京ビッグサイト  
海外・国内旅行のビジネスチャンス! JATA国際商談会  
9月12日～13日 / オンライン参加登録 7月19日まで

登録・詳細はこちら → <http://www.b.tabihaku.jp/>

ター」の3隻を保有し、世界各地でクルーズを展開している。日本での販売はPTSクルーズデスクが手がける。

### ★MSCクルーズ、11月以降のエジプト寄港を中止

MSCクルーズは、今年11月25日から運航する「MSCファンタジア」の運航コースを変更し、予定していたアレキサンドリア(エジプト)への寄港を中止すると発表した。エジプトの情勢不安に伴う措置で、代替地としてクレタ島のイラクリオンへ寄港する。変更対象はMSCファンタジアの2013/2014年冬季スケジュールで予定している11泊の東地中海クルーズ(乗/下船港:ジェノバ)。来年3月までに6本の運航が計画されている。

### ★観光地スマホアプリを手軽に作成、ヴェルク社 iPhone・Android対応、サーバー費込月額3万円

スマートフォンアプリの開発などを手掛けるヴェルクはこのほど、スマホアプリの簡単作成ツール「Patto」に観光地向けサービスを追加した。予め用意された様々な機能を組み合わせることでアプリを制作できるツールで、今回は観光地向けに、GPS機能や地図機能なども利用できるようにした。Pattoの利用料金は、iPhone/Androidの両OS対応およびサーバー費込で月額3万円から。

デフォルトの機能に加え、独自機能を追加することや、既存機能のカスタマイズも可能。すでに同ツールを活用して、「お台場ガイドマップ」アプリが提供されている。お台場ガイドマップアプリでは、現在地を中心に周辺の観光スポットや店舗情報を表示、さらにその詳細情報を見ることが出来る。また、従来のPattoの機能である記事機能やフォト機能、イベント機能などを活用し、様々なお台場の情報を発信している。

※Patto紹介ページURL  
<http://patto-cms.jp/>

### ★トップツアー、東北発F1グランプリ観戦ツアー

トップツアーはこのほど、10月12～13日に鈴鹿サーキットで開催される「2013FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 日本グランプリレース」の東北(仙台駅・福島駅)発観戦バスツアーを発売した。

10月11日発で3泊4日、料金はC席観戦チケットがついて大人6万4000円、小・中学生4万9000円、3歳～小学生未満4万2000円とした。2名から受け付ける。最少催行人員は40名。

### 【航空関連】

### ★エジプト航空、成田線7月14日-8月28日まで運休 関空-カイロ線は継続、予約振り替えを提案

エジプト航空は7月14日～8月28日まで、成田-カイロ線を運休することを決めた。カイロ発便運休期間が7月14日～8月27日、成田発便運休期間が7月15日～8月28日。外務省の渡航情報発出にともなう、需要の減少を受けての措置。成田線は月・水の週2便運航していた。

一方、同じく週2便(金・日)で運航している関空-カイロ線は、カイロ経由での欧州への渡航需要が好調であることから

週刊ウイングトラベル

## オーストラリア教育旅行特集

運航を継続する。既に運休期間中の成田発着便を予約している旅客に対しては、関空線への振り替えを提案していく。

外務省は7月6日付でエジプト全土への渡航情報を「渡航の延期をお勧めします」に引き上げた。渡航情報の引き上げを受け、旅行会社各社もエジプトツアーの催行中止を決定している。

エジプト航空では2011年2月に現地の政情不安を受け日本路線を運休、以降2012年4月に成田線を、2012年12月に関空線を再開している。

今回の成田線運休期間についても、今後の状況次第ではさらに長引く可能性がある。

### ★新関空会社住田氏、国際線LCC誘致を積極化 スクートやライオンエアなどに就航働きかけ

新関西国際空港会社執行役員の住田弘之氏は、日本インバウンド・メディア・コンソーシアム(JIMC)が7月9日に都内で開催した「第2回インバウンドシンポジウム」内の基調講演で、「成功する空港のLCCシェアの目安は3割と見ている」と語り、改めて関空への国際線LCCの誘致を促進し、発着便数に占めるLCCシェアを引き上げていきたい考えを示した。今後はスクート(シンガポール)、ライオンエア(インドネシア)など、東アジアのみではなく東南アジア勢にも就航を働きかける。近距離LCCでは春秋航空(中国)やジンエア(韓国)などにも働きかける方針。

今回のシンポジウムの副題は、「進化するFIT! LCC時代を迎えたインバウンドの現場はどうなっているのか?」というもの。LCCの日本路線拡大に伴い増加しているFITの訪日客について議論した。プログラム内では住田氏による基調講演のほか、「リピート顧客を増やすためのブランディング戦略」がテーマのパネルディスカッションなどが開催された。

関空は日本における最大のLCCハブ空港を標榜し、国内空港の中でも先陣を切って本格的なLCC専用ターミナルの建設に着工、供用を開始した空港だ。現在の関空発着運航便数に占めるLCCの割合は17%。2014年内には全運航便数に占めるLCCの割合を、25%に拡大させることを目標に掲げている。

### 訪日客対応、WiFi設置拡大・ムスリム受入強化 オール関西でPR、LCC旅行のモデルコース提案

住田氏は円安のほか、関空へのLCCの路線拡大にともない、関空からの訪日外国人の数が全国平均を上回る勢いで伸びていることを説明した。このため、Wi-Fi設置箇所の拡大や、ムスリムに向けた



リムに向けた祈祷室設置など、今後も関空における訪日客に向けたサービスを、一層充実させていく考えを示

**JATA 旅博 2013** 9月12日(金)・13日(土)・14日(日)・15日(月)  
東京ビッグサイト  
海外・国内旅行のビジネスチャンス! JATA国際商談会  
9月12日～13日 / オンライン参加登録 7月19日まで

登録・詳細はこちら → <http://www.b.tabihaku.jp/>

した。

また住田氏は、関空が訪日客に強い要因のひとつとして、空港から100キロ圏内に、訪日外国人に好まれる人気観光スポットが点在していることを紹介した。住田氏は今後、グランフロント大阪や、あべのハルカスなどの新スポットも訪日客の人気を呼ぶ可能性が高いことから、新関空会社として関西広域連合や大阪観光局などと「オール関西」として連携し、関西一帯の訪日プロモーションに一層力を入れていく方針を示した。

今後の具体的なプロモーションの方向性としては、観光フリーペーパー「good Luck Trip関西」のタイ語版を発行するほか、現地旅行雑誌を招聘してのファミトリップを開催し、LCCを活用した関西旅行のモデルルート提案する。

現状では、関空にはピーチ・アビエーション(APJ)を始めLCCが8社乗り入れており、海外11都市に路線が開通されている。LCCの国際線の運航便数は週120便、一方国内線LCCの運航便数は1日28便という数。国際線LCCの方面別便数は、韓国が週60便と大半を占め、続けて台湾・香港が週21便、アジアが週25便、豪州が週14便となっている。

住田氏は、関空がこうした豊富なLCCの供給を活かすため、バスや電車などでの大阪などからのアクセスを改善するなどの取り組みを進めていることを紹介した。LCCは深夜・早朝時間帯の発着が多いことから、専用ターミナルには24時間営業のコンビニや飲食店を設定した。またバスの運行時間も調整したという。

### ★ティーウェイ、佐賀-仁川線は週3便、737使用 佐賀県、運航経費を3年間で1億5000万円負担

韓国LCCのティーウェイ航空は、今年12月に就航予定する佐賀-仁川線の運航便数は週3便で、189席のB737型機を使用することが分かった。ダイヤは現在調整中。佐賀県では同航空に対し、就航から3年間に渡り運航経費を総額1億5000万円支援する。

ティーウェイ航空は、佐賀空港が12月に予定する国際線専用ターミナルの供用開始に合わせ、同路線に定期便を就航する。佐賀県では今後も、香港や台湾など東アジア拠点の航空会社の誘致に向け、働きかけを継続していきたいと話す。

また、国際線専用ターミナルが供用開始されれば、春秋航空が現在プログラムチャーター便として運航している佐賀-上海線も定期便に移行することが可能になるため、県では同航空に対しても定期便への移行を働きかけていく方針だ。

### ★中国南方航空、新潟-ハルビン線週4便に増便 7-8月に臨時便計4本運航

新潟県はこのほど、中国南方航空が7月15日から新潟-ハルビン線を週3便から週4便に増便すると発表した。月・水・金・日曜日に運航する。さらに中国南方航空は、7月20・30日と8月10・20日に同路線に1日1便ずつ臨時便を運航する。この臨時便のダイヤは新潟12時10分発→ハルビン13時35分着、ハルビン8時00分発→新潟11時10分着。

### ★成田夏期旅客、中韓低迷で海外旅行マイナス 訪日客円安で増、ピーク出国10日、入国17・18日

成田国際空港会社が発表した夏季繁忙期(7月12日～9月1日)52日間の旅行動向によると、出入国旅客数は前年同期比

週刊ウイングトラベル

## オーストラリア教育旅行特集

0.2%増の391万1900人と前年と変わらないものの、日本人の海外旅行者数は欧州のほかハワイなどリゾート地の方面の人气が高い反面、中国・韓国方面が低調で0.7%減の199万9500人と前年下回り、一方で、訪日外国人旅行は円安を背景に1.1%増の191万2400人と推計した。

ピークは出国が8月10日(土)で4万8800人、入国が8月17日(土)と8月18日(日)がともに5万1700人。

ターミナル別では、第1ターミナルビルが合計0.8%減の239万2900人で、内訳は出国2.2%減の122万1900人、入国0.8%増の116万1826人。第2ターミナルビルが合計1.6%増の151万9000人で、内訳は出国1.7%増の77万7600人、入国1.6%増の74万1400人。

### ★インフィニ、夏のブッキングキャンペーン開催 アタックチャンスなど「夢ふくらむ」賞品贈呈

インフィニトラベルインフォメーションは、7月16日から9月30日まで、「夢ふくらむ夏のINFINIブッキングキャンペーン」と題した夏のブッキングキャンペーンを開催する。期間中、インフィニで予約・発券した航空会社フライトセグメント数に応じて賞品を抽選でプレゼントする。

また、「アタックチャンス」として全国共通3万円の食事券を5店舗、iPad mini、Play Station Vitaなどを7店舗、さらに「Wアタックチャンス」として航空会社提供のモデルプレーンやレアグッズなどを20店舗、オータムジャンボ宝くじ50枚を25店舗にそれぞれ用意した。

対象店舗はインフィニで予約発券を行うすべての旅行会社。予約店舗と発券店舗が異なる場合は予約店舗を優先する。マルチアクセス利用の場合は発券店舗が対象。VOIDまたは払い戻し分は除く。

カウント対象航空会社フライトはインフィニと契約のある航空会社のフライト全て。カウント対象運賃・クラスは全運賃・全クラス。

アタックチャンスは、キャンペーン期間中にインフィニで予約・発券した航空会社フライトセグメント数が、前年同期比で100%を超過した店舗が対象で、500セグメントを1口として抽選する。

Wアタックチャンスは、キャンペーン期間中に、前年同期比に関係なくインフィニで予約・発券した店舗が対象で、100セグメントを1口として抽選する。

応募方法は専用の応募サイトまたはINFINI LINXポータルサイトで必要事項を記入し、参加登録を行う。

※応募用サイト

<https://www.form-answer.com/applications/6WYPP>

### ★AFRの音楽レーベル、仏バンドのNY公演に招待 モバイルアプリで新作発売キャンペーン

エールフランス(AFR)系列の音楽レーベル「エールフランスミュージック」は7月17日まで、仏バンド「フェニックス」の新アルバム発売にちなんだ企画、「フェニックス・イン・ザ・スカイ」キャンペーンを展開する。同レーベルのモバイル



JATA 旅博 2013 9月12日(金)～13日(土)～14日(日)～15日(月) 東京ビッグサイト  
海外・国内旅行のビジネスチャンス! JATA国際商談会  
9月12日～13日 / オンライン参加登録 7月19日まで

登録・詳細はこちら → <http://www.b.tabihaku.jp/>

アプリ上で、隠された曲を見つけた人の中から、抽選で2名をフェニックスのニューヨーク公演に招待する。

同レーベルは2010年初頭に創設。現在はBETCミュージックとの提携のもと、レーベル公式ウェブサイトやフェイスブックページなどで、珍しい曲や一般にリリースされていない曲を提供している。AFRでは、「音楽は10年以上前から、我々のブランドアイデンティティの重要な要素のひとつだった」とレーベル設立の背景について説明している。

エールフランス ミュージックのモバイルアプリ、「ミュージック・イン・ザ・スカイ」のダウンロード先は以下の通り。

▼Android=[http://bit.ly/afmusic\\_android](http://bit.ly/afmusic_android)

▼iPhone=[http://bit.ly/afmusic\\_iphone](http://bit.ly/afmusic_iphone)

### ★AAL調査、理想のCAは「マリリン・モンロー」

アメリカン航空(AAL)が英国在住の1000名を対象に客室乗務員として理想のハリウッドスターを調査したところ、1位は22%の票を集めたマリリン・モンローが選ばれた。2位は20%の票を集めたオードリー・ヘップバーンだった。今回の調査は、同航空新機材B777-300ER型機のロンドン〜ロサンゼルス間への就航を記念して実施したもの。

調査ではこのほか、理想のパイロットに22.5%の票を集めたジョージ・クルーニーが選ばれた。パイロットでは英国王室のハリー王子も21.4%の得票数で上位に食い込んだほか、レオナルド・ディカプリオも11.6%、オバマ大統領も11%の得票と健闘した。一方、新スーパーマン役を演じたヘンリー・カヴィルは1.9%と振るわなかった。パイロット部門ではこのほか、アンジェリーナ・ジョリーも女優として最高の10.8%の票を得た。

最近の著名人から選ぶカテゴリでは、理想の客室乗務員にジェニファー・アニストンが18.1%の得票で君臨、2位は17.1%の得票でケイト・ミドルトン、3位は14.7%の得票でアンジェリーナ・ジョリーだった。

### 【デスティネーション】

#### ★コロラド州の「神々の庭園」が人気投票第2位に トリップアドバイザー、雄大な景観が高評価

コロラド州政府観光局によると、米コロラド州コロラドスプリングスにある「ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ(神々の庭園)」がこのほど、旅行クチコミサイト「トリップアドバイザー」の人気投票でアメリカ国内第2位の「公園」に選ばれた。景観のすばらしさや多彩なアクティビティが人気を集めたもので、1位に選ばれたニューヨークのセントラルパークに次ぐ評価を得た。

ガーデン・オブ・ザ・ゴッズはコロラドスプリングスの郊外にあり、総面積は約1319エーカーで東京ドームの約114個分。アメリカの国立自然ランドマークに登録されており、大自然によってつくられた赤い岩の景観が広がっている。園内には多様な植物や野生動物が生息し、自然が満喫できるハイキングコースや、ロッククライミングコースなどが整備されている。

今回のトリップアドバイザーによる人気投票は、1963名の旅行者を対象に世界中の「公園」をランキングしたもの。世界ランキングでは、1位にカナダのバンクーバーにあるスタンレーパーク、2位にニューヨークのセントラルパーク、そして3位にコロラド州のガーデン・オブ・ザ・ゴッズが選ばれている。

週刊ウイングトラベル

## オーストラリア教育旅行特集

### 【ホテル】

#### ★ホテルJALシティ田町が全室リニューアルに着手

JALホテルズは、東京都港区にある「ホテルJALシティ田町東京」の改装工事に着手し、第1弾として新客室フロア計40室を8月16日にリニューアルオープンする。新しい客室には、シモンズ社製のポケットコイルベッドを全室に導入するほか、シングルルームのベッドを140センチのセミダブルサイズへ取り替える。また、Wi-Fi接続サービスや枕元でモバイル端末の充電が可能な電源コンセントなどを導入する。

フロアの改装は低層階から開始し、14階の高層階客室まで順次着手していく。来年5月までには全8フロアの改装を完了する計画。リニューアル後は、ツインルームを増室するほか、禁煙ルームの設定を現在の50%から75%に拡大する。

### 【組織・人事】

#### ★スタークルーズの荒木氏が退任、後任に山本氏

スタークルーズ日本オフィスの荒木辰道代表が7月10日付で退任し、後任として同社セールス・マネージャーを務めていた山本有祐氏が日本代表に就任した。退任した荒木氏は、2001年にスタークルーズ日本代表に就任、日本のクルーズ市場拡大に向けて業界内外で活動してきた。今回の退任の理由については「一身上の都合」としている。

#### ★デュシット、日本地区セールスオフィス開設 ディレクターに関根氏、グアムに新ホテル開業計画

デュシット・インターナショナルはこのほど、東京都内に日本地区セールスオフィスを開設し、旅行会社向けの営業活動を開始した。事務所開設に伴い、営業を統括する日本地区ディレクター・オブ・セールス&マーケティングに関根啓太氏が就任。また、ディレクター・オブ・セールスに植田収一氏が就任した。同社は2014年にグアムで新ホテルの開業を計画しており、セールスオフィス開設により日本での販売支援体制を強化する。

ディレクター・オブ・セールス&マーケティングに就任した関根氏は、15年以上にわたりアメリカや日本のホテル業界で勤務し、前職はマンダリンオリエンタル東京の営業部長を務めている。

デュシット・インターナショナルは、「デュシタニ」ブランドを筆頭に、「デュシットD2」や「デュシットプリンセス」などのホテルブランドを展開。アジアや中東を中心に17軒のプロパティを展開している。今後も世界各地への展開を進め、2014年上期にはグアムのタモン地区に「デュシタニ・グアム」(全417室)の開業を計画するほか、中国、インド、ドバイなどへの進出を予定している。

日本セールスオフィスの連絡先は以下の通り。▼住所=〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1 ロイヤルパークホテル内2階▼電話=03-5645-8531▼FAX=03-3664-3301



登録・詳細はこちら→ <http://www.b.tabihaku.jp/>